

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary   
第2520地区

2025-2026  
ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2520  
GOVERNOR: TAKEHIKO KATOH

## CONTENTS

ガバナーメッセージ	02
特別月間テーマに寄せて	04
寄稿～加藤ガバナーより～	05
行事報告1・ガバナー公式訪問報告	06
行事報告2	07
行事報告3	08
地区大会のご案内	09
クラブ会員数・寄付状況	13
新入会員紹介・退会者報告・ 寄付認証・お知らせ	14

# 3

2026  
月信  
VOL.09



## ガバナーメッセージ



## — スイートピーが告げる 「希望の門出」と水と衛生の未来 —

国際ロータリー第2520地区ガバナー

加藤 雄彦 TAKEHIKO KATOH

UNITE FOR GOOD

3月の表紙を飾るスイートピーの花言葉には、「門出」「永遠の喜び」「優しい思い出」があります。春の訪れを告げるこの花は、厳しい季節を越え、新しい希望へと向かう道が再び開かれていくことを静かに示してくれます。私たちロータリアンの歩みもまた、一つひとつの奉仕が未来への門出となり、世界に温かな彩りを添えていきます。

今月は、国際ロータリーが掲げる重点分野の一つである\*\*「水と衛生月間」\*\*です。世界には依然として、安全な水にアクセスできず、手洗いや衛生管理が十分に行えない地域が数多く存在します。教育機会の制限、感染症の拡大、女性や子どもへの負担——水が確保できないという問題は、暮らしのすべてに深刻な影響を及ぼします。ロー

タリアンが「必要とされる場所に寄り添う」ためには、現地に入り、耳を傾け、地域が本当に求める支援を共に考える姿勢が求められます。

この理念を形にした取り組みが、仙台ロータリークラブとパプアニューギニア(第9600地区)・ボロコロータリークラブが2021年から協働して進めてきた\*\*「ソゲリ地区の水と衛生プロジェクト」\*\*です。

ソゲリ地区は、降雨の季節変動が大きく、生活用水が不安定な地域です。子どもたちは水汲みのために長距離を歩き、学校でも適切な手洗いや衛生指導が難しい状況が続いていました。こうした現状を踏まえ、両クラブは綿密なニーズ調査を重ね、地域の課題に合わせた支援計画を作り上げま

した。

現地を訪れた際、私自身が中学生たちに「安全な水の確保が公衆衛生の基盤となる」ことを講話しました。地面に座り込んで真剣に耳を傾ける生徒たちの姿には、未来を担う世代が地域を変えていく力強い可能性が感じられました。水と衛生の教育は、子どもたちの健康と学びの環境を支える最も基本的な“未



来への投資”です。

プロジェクトの中心となったのが、地域で最も高い地点に設置した給水タンクです。重力を利用して水を安定的に供給できるこのシステムにより、約30,000人の住民に加え、警察署・消防署、小学校・中学校、そして2つの全寮制高校に安全な水が届けられるようになりました。2024年、新型コロナウイルス感染が広がる中でも、両クラブは支援の手を止めることなく活動を継続し、地域の暮らしの安定に大きく寄与しました。

水源整備の完成を祝うセレモニーでは、地元住民の皆さまが伝統舞踊を披露し、ロータリーの活動に深い敬意と感謝を示してくださいました。文化的な歓迎の中に、支援が「押しつけ」ではなく「信頼に基づく協働」として受け止められていることを実感し、国際奉仕の本質とは“相手を尊重しながら共に歩むこと”であると改めて心に刻みました。

また2023年夏、ボロコロータリークラブのフェローたちと共にプロジェクト成功を喜び合う場面も印象深いものでした。互いの専門性や知恵を持ち寄り、ときに困難を乗り越えながら築かれた友情は、まさにUNITE FOR GOOD —— 「よきことのために結束する」というロータリー精神そのものです。

この水と衛生プロジェクトは、ロータリーの\*\*行動計画(TAKE ACTION) \*\*とも深く呼応しています。



- インパクトを高める (ENHANCE IMPACT) : 地域の健康と生活の質を大きく改善した。
- 裾野を広げる (EXPAND REACH) : 国際連携により、より多くの人々に支援が届いた。
- 参加を促す (ENGAGE PARTICIPANTS) : 学生、住民、行政機関を巻き込み、持続可能な仕組みが育った。
- 適応力を高める (INCREASE ADAPTABILITY) : 感染症拡大という困難にも柔軟に対応した。

水はすべての生命をつなぐ源であり、地域の未来を左右する最も重要な基盤の一つです。ソゲリ地区の取り組みが示したように、「一滴の水」は暮らしを変え、教育の機会を広げ、平和の芽を育てる力を持っています。

スイートピーが春の訪れを告げるように、私たちロータリアンの行動が、世界に新しい希望をもたらすことを願っています。これからもUNITE FOR GOOD —— ともに良きことのために、ロータリーの旅を続けてまいりましょう。



## ソゲリの丘の水音 — 支援の現場で得た学び

多賀城ロータリークラブT1300

### 足利 尚

パプアニューギニア。この国の名前を聞いて、どれほどの日本人がその生活や文化を思い浮かべることができるでしょうか。南太平洋に浮かぶこの多島国家を訪れたのは、2021年のこと。当時の私は、仙台ロータリークラブのサポートスタッフとして、ポートモレスビー郊外のソゲリ地区における「水と衛生」プロジェクトに参加しました。現地のボロコロータリークラブと連携し、安全な水の供給と衛生意識の向上を目的としたこの活動は、私にとって忘れがたい経験となりました。

当時、私はまだロータリアンではなく、あくまで支援団体の一員としての参加でした。それでも、目の前にある課題と真摯に向き合い、地域の人々と共に取り組む中で、「奉仕」とは何か、「国際支援」とはどうあるべきかを深く学ぶことになりました。

今回のプロジェクトでは、井戸を掘るのではなく、地域で最も高い地点に給水タンクを設置し、そこから重力の力で水を地域に届けるという方式を採用しました。高台に設置されたタンクは、天候や地形条件にも配慮しながら構築され、持続的かつ安定した水供給を可能にするものでした。

この給水システムの設置には、予想を超える困難が伴いました。まず、タンクや配管の資材を運ぶために、険しい山道や未舗装の道路を通らねばなりません。雨が降れば道は泥に変わり、トラックが立ち往生することも珍しくありませんでした。資材を背負い、住民たちと力を合わせて運搬する中で、互いの絆は確かに深まりました。

技術的な面でも、多くの試行錯誤がありました。日本の設備や道具がそのまま使えるわけではなく、現地の条件に合わせて柔軟に対応する必要がありました。何度も設計を見直しながら、ボロコロータリークラブのメンバーや地元住民の知恵と協力を得て、一步步つ前進していきました。

また、支援の重要な柱である衛生教育においても、忘れがたい場面がありました。地域の子どもたちに、手洗いの大切さや清潔な水の使い方を伝えるために行われたワークショップでは、2025～26年度国際ロータリー第2520地区 ガバナー 加藤雄彦氏が、現地の子どもたち一人ひとりに丁寧に説明を行いました。彼の落ち着いた語り口と温かい笑顔は、言葉の壁を超えて子どもたちの心が届き、真剣に耳を傾けるその姿に、私たちスタッフも

胸を打たれました。

水源の整備だけでなく、「なぜ清潔が必要なのか」「どうすれば病気を予防できるのか」といった基本的な衛生知識を伝えることが、プロジェクトの持続可能性に直結します。ガバナー加藤氏の参加は、単なる視察を超えた、実践的で心ある奉仕の姿勢そのものでした。

もうひとつ印象的だったのは、住民の皆さんとの対話の中で「支援とは、与えることではなく、共に考え、共に歩むこと」だと実感したことです。水の取り扱いに関する習慣や、設置場所に対する意見の違いなど、様々な価値観の違いを乗り越えるためには、時間をかけた丁寧な対話と信頼の積み重ねが不可欠でした。

給水タンクが完成し、タンクから流れ出る水が各家庭



現地視察風景(既存システムの確認)

に届いた瞬間、子どもたちは手をたたきながらはしゃぎ、女性たちはバケツを手に満面の笑みを浮かべていました。その光景は、私の中で「水＝生活の希望」であることを強く印象づけました。

帰国後、私はこの経験をきっかけに、ロータリーの理念に深く共感し、正式にロータリアンとなりました。あの時感じた「一人ひとりの行動が世界を少し良くできる」という実感は、今も私の中で生き続けています。

そして今、私が強く思うのは、「UNITE FOR GOOD — ともに良きことのために」というテーマの深い意味です。国も文化も言語も異なる人々が、「誰かのために」という一点でつながり、力を合わせる。このソゲリ地区でのプ

## 特別月間テーマに寄せて・寄稿～加藤ガバナーより～

プロジェクトは、まさにその象徴だったと感じています。

支援の現場にいた私は、善意が必ずしもスムーズに届くわけではないこと、そこに時間と努力、そして信頼が必要であることを痛感しました。しかし同時に、信じて向き合えば、どんな困難も乗り越えられることもまた事実です。そして、ロータリーというネットワークの中で、それが世界中の仲間たちと可能であることに、私は希望を見出しました。

この経験は私一人の特別な物語ではなく、ロータリアン一人ひとりが持つ可能性の一例にすぎません。だから

こそ、これを読んでくださっている皆さんにも、心からお伝えしたいのです。

「UNITE FOR GOOD」——それは、理念ではなく行動の呼びかけです。遠い国の話ではなく、今日の、そして明日の私たちの選択にかかっている言葉です。世界を良くするのは、「誰か」ではなく、「あなたと私」なのだ。

これからも私は、皆さんと共に、ロータリーの名の下に、<UNITE FOR GOOD>を実践していきたいと思っています。

## 2025年規定審議会および関連決議から見える ロータリーの方向性(寄稿)

国際ロータリー第2520地区ガバナー

加藤 雄彦

国際ロータリーでは、世界規模の組織を民主的かつ公平に運営するため、規定審議会(Council on Legislation)および規定決議会(Council on Resolutions)を通じて、定期的に制度や方針の見直しを行っています。2025年4月、米国シカゴにおいて規定審議会が開催され、あわせて規定決議会で採択された要請事項についても整理が行われました。規定審議会はロータリーの定款・細則を改正する立法機関であり、規定決議会は理事会等に対して方針や対応を要請する意思表示の場であるため、その違いを正しく理解していただく必要があり、今回あらためてシカゴで開催されたものです。

今回示された内容の中で、今後の地区・クラブ運営を考える上で、特に注目すべき四つのポイントがあります。

第一は、新会員の参画促進です。規定決議会では、ガバナーエレクトに対し、意欲と適性を備えた比較的新しいロータリアンを、入会年数にとらわれず地区委員会に任命することを検討するよう奨励する決議が採択されました。新会員が早い段階から地区レベルの活動に関わることで、ロータリーの広がりや奥深さを体感し、帰属意識を高めるとともに、将来のリーダー育成につなげようとする考え方です。

第二は、ロータリーの立法プロセスへの理解を深める取り組みです。すべてのクラブに対し、規定審議会をテーマとした年次クラブ会合の開催を奨励することが決定されました。これは、ロータリーが「上から決まる組織」ではなく、会員の代表による議論と決定を重ねて運営されている組織であることを、クラブの場で共有すること

を目的としています。

第三は、ゾーン構成の見直しです。RI細則に基づき、少なくとも8年ごとに行うことが定められているゾーン構成の見直しが実施され、世界を34のロータリーゾーンに区分する新たな境界が採択され、公式サイトに公表されました。これは、会員数や地区構成の変化を踏まえ、国際的な代表性と公平性を保つための制度的な対応です。

第四は、ゾーンの組み合わせとRI理事選挙のローテーションについてです。今回、ゾーンの境界そのものは確定しましたが、複数ゾーンをどのように組み合わせる理事選出の単位とするか、また、どのゾーンがどの年度にRI理事を輩出するかといった点については、2026年4月開催予定のRI理事会で改めて審議・決定されることとなりました。

私自身、これまで地区や国際の場に関わる中で、ロータリーは「決まったルールに従う組織」であると同時に、「会員一人ひとりの参加によって形づくられていく組織」であることを強く感じてきました。制度は難しく見えても、その根底には現場の声があります。今回の決議を通じて、人を育て、対話を重ね、次の世代へとバトンを渡そうとするロータリーの姿勢を、あらためて実感しております。

各クラブにおかれましては、ぜひこれらの趣旨をご理解いただき、新会員の積極的な参画の後押しや、規定審議会をテーマとした学びの機会づくりにお取り組みくださいますようお願いいたします。地区とクラブが共に学び、語り合いながら、より魅力あるロータリーを築いていければ幸いです。

## 行事報告①・ガバナー公式訪問報告



## 「2026国際協議会 出席報告」

ガバナーエレクト

柴田 茂

2026年1月10日から17日まで、米国オーランドで開催された国際協議会に参加してまいりました。世界510名を超えるガバナーエレクトが集い、RI会長エレクト オラインカ・ハキーム・ババロラ氏は「持続可能なインパクトを生み出そう」とのメッセージを発信されました。支援が終わった後も地域や人々が自立し、効果が継続していくこと。それぞれが私たちの目指す奉仕の姿です。奉仕の量ではなく、人生や地域に長く残る変化が問われています。ポリオ根絶への最後の取り組み、平和と対話の推進、会員増強とクラブ体験の向上も強く示されました。交流会では様々な国のロータリアンと語り合い、ロータリーのみならず多様な価値観や生き方に触れ、大きな学びと感動を得ました。皆さまと心一つに、第2520地区から持続可能な成果を築いてまいりましょう。



## ガバナー公式訪問報告

## 第6分區 古川ロータリークラブ

■開催日：1月16日（金） ■会場：アインパルラ浦島  
■同行者：早坂 竜太 ガバナー補佐



本日はご多用のところ、加藤ガバナー様に当クラブへ公式訪問を賜り、誠にありがとうございました。

会長幹事会では、標準クラブ定款をはじめ、会員増強やクラブ運営全般について具体的かつ丁寧なご指導を頂戴し、心より御礼申し上げます。

例会では米山記念奨学会およびロータリー財団寄付に対する感謝状・ピンバッジを加藤ガバナー様より直々にご贈呈いただきました。また、ガバナー講話では当クラブ70周年に向けた3か年計画についても貴重な助言をいただきました。

本日のご指導を今後のクラブ活動に活かしてまいります。

（報告者：菅原 康／古川RC 幹事）

## 第7分區 仙台ロータリークラブ

■開催日：1月20日（火） ■会場：メトロポリタン仙台  
■同行者：及川 正紹 ガバナー補佐



## 会長・幹事会

本年度これまでの仙台RCの主な活動についてご報告いたしました。

特に社会奉仕委員会で実践した「不登校児童生徒への支援」について、地区補助金を活用させていただいたことに感謝申し上げ、とても有意義な活動との評価をいただきました。

また、今後の2520地区での地区活動に関してホストクラブとして、4月の地区大会と6月の世界大会の情報交換をさせていただきました。

## 例会

例会では、ロータリークラブ活動の今後について指針となる地区の行動計画で

1. 地区賦課金の見なおし 2. ロータリー章典に沿った地区組織(委員会)の改編 3. 国際共同委員会の設立 の3点についてご説明をいただき、また、4つのテストの中核的価値観の中で「高潔性」が最も重要で「エンブレム」の大切さ等ご指導いただきました。公式訪問がホームで無事終了され大変お疲れさまでした。

（報告者：大城 秀峰／仙台RC 幹事）

## 行事報告②



## 第2回青少年交換オリエンテーション

青少年交換副委員長

高橋 範行 (北上和賀RC)

2026年1月10日(土)から11日(日)、青少年交換第2回オリエンテーションが奥州市の水沢グランドホテルにて行われました。今年は、当地区の予算の都合によりオクラホマ地区への短期交換留学生がいなかったため、長期交換留学の1名と当地区にきているIB生の2名の合計3名の参加となりました。

この第2回オリエンテーションでは、青少年交換プログラムの心構え、海外で女性が生活するための知識、異文化に触れあうための心構えなど、海外で生活するために知っておかないといけない知識がこの2日間、盛りだくさんな講義となります。また、OB生の英語スピーチ力の向上のため、海外経験豊富なロータリアンなどからきめ細かい指導が夜まで行われました。

異国で上手にやっていくには、その国の文化・風土に自ら慣れようとする気持ちと、積極的なコミュニケーションが必要であると…個人的に思っております。それが出来れば、現地のロータリアンや学校のみならず上手な人間関係が築けて、必ず良い留学になります！



## 多地区合同青少年交換ウインタースキーキャンプ



2026年1月24日(土)から26日(月)、東北6県5地区に加え第2760地区名古屋エリアも参加し、多地区合同青少年交換ウインタースキーキャンプが山形県で開催されました。当地区から長期IB生2名、OB生1名、引率ロータリアン4名で参加いたしました。

参加者全体として、長期IB生は合計25名(国籍はアメリカ、フランス、スイス、スウェーデン、チェコ、ブラジルなど)、OB生2名、ROTEX8名、ロータリアン32名の合計67名の大規模イベントとなりました。

IB生は皆、地区も国籍もバラバラで初めて会う学生も多いはずなのに、すぐに溶け込み笑い合い、楽しんでいる様子を見るとこちらも「この青少年交換プログラムに関わって本当に良かった!」と思えてきます。

東北地区のIB生は、また3月花巻市(第2520地区が主催)で開催される合同スプリングキャンプで再会します。そのスプリングキャンプでは日本語スピーチコンテストもあり気が抜けません。IB生にとっては、若いこの時期を日本で過ごす貴重な1年。本当に楽しんで欲しいと思います。

## 行事報告③



地区米山記念奨学会委員長

白鳥 淳

## 「2026学年度 米山記念奨学生 選考試験」

1月10日盛岡、同月17日仙台で4月から採用する米山記念奨学生の選考試験を実施しました。今年度は岩手5名、宮城に14名の応募者がありました。公益財団法人として審査の公平性、公明性が厳しく要求されており厳粛に選考を行いました。事前に申込書類を審査し当日はガバナー、桑原米山記念奨学会理事、地区正副委員長及び次年度副委員長の7名で選考を行いました。全ての応募者が優秀で可否の判断に苦慮いたしました。面接官全員の点数を合計し最終判断としたのは言うまでもありません。新規採用者数は合計で11名と今年度は難関でしたが優秀な学生を採用することが出来ました。

世話クラブの希望クラブが多く前年度と、今年度の寄付実績に応じ世話クラブをお願いしているところであります。新たな奨学生も宜しくお願いたします。



盛岡ゾーンガバナー補佐

小山田 榮二

## 第1分区インターシティ・ミーティング

年も明けて1月10日に第1分区のインターシティミーティングがホテル盛岡メトロポリタン本館で開催されました。

ロータリーの公共イメージ向上の為、活動に触れてもらう機会として記念講演会に一般の方々の参加を募り、ロビーには各クラブの活動紹介をポスターにして掲示しました。一般参加者56名とロータリアン150名の参加でした。

記念講演会は「ツキノワグマの生態と対策策を知る」と題して岩手大学の山内貴義准教授をお迎えしてお話をお伺いしました。

終了後ロータリアンが集ってのインターシティミーティングでは、加藤ガバナーから「ロータリアンの危機管理」の講話を学び、交流会では各クラブの活動紹介と共に大いに親睦を深めることができました。



登米栗原ゾーンガバナー補佐

高橋 利光

## 第5分区インターシティ・ミーティング

2026年1月17日(土)に開催したIMは、2部構成で行いました。

第1部は、一般社団法人ピースセルプロジェクト(PCP)の代表理事平丸久美子様に基調講演をいただきました。

第2部は、平丸久美子様と加藤雄彦ガバナーと私ガバナー補佐の3人で、パネルディスカッションを行いました。

PCPは、イラクで永きにわたり支援活動を行ってる団体です。現地で活動する困難さや、事実とメディア報道とのギャップを話していただきました。

ガバナーからは、ウクライナと日本をつなぐICC(インターカントリー・コミッティー)を発表していただきました。

平和が当たり前存在する、恵まれた環境に感謝するとともに、ロータリアンとして、世界平和のために貢献しなければならぬ使命感を、改めて痛感しました。



地区大会のご案内

Rotary  
District 2520



UNITE  
FOR  
GOOD

*Hand in hand to  
the future*



国際ロータリー第2520地区  
地区大会の  
ご案内 2025-  
26年度

2026年

4月17日(金) 18日(土)

【会場】ホテルメトロポリタン仙台

未来へ  
取って  
手を



## 地区大会のご案内


 手を取って未来へ  
 第2520地区大会に

## 込める思い



国際ロータリー第2520地区  
2025-2026年度 ガバナー  
**加藤 雄彦** (Takehiko KATOH)

私たちロータリアンが手を取り合うとき、そこには必ず「未来」が生まれます。

第2520地区大会のスローガン「手を取って未来へ」には、国境や文化、世代の違いを越え、人と人が信頼で結ばれたときにこそ、平和と希望の道が切り拓かれるという強い思いを込めました。

本年度、フランチェスコ・アレツォ国際ロータリー会長は、「UNITE FOR GOOD」という明確なメッセージを私たちに示しています。それは、善のために結束し、行動によって世界に変化をもたらそうという、ロータリーの原点とも言える呼びかけです。本地区大会は、このメッセージを地域と世界に具体的な形で示す場でありたいと考えています。

世界はいま、大きな緊張と分断の中にあります。そうした現実を踏まえ、本大会では、駐日ウクライナ全権大使ユーリ・ルトビノフ閣下を来賓としてお迎えし、困難な状況にある社会がいかに再生し、未来へ歩みを進めていくのかについて、直接お話を伺います。平和と復興を自分自身の課題として考える、貴重な機会となることでしょう。

第2520地区は、ウクライナ第2232地区を新たなパートナーシップとして位置づけ、対話と信頼を礎にした継続的な交流と支援を進めてきました。その中核となるのが、日本—ウクライナ国際共同委員会(ICC)です。共に学び、共に未来を描く関係こそが、UNITE FOR GOODの精神を体現する国際奉仕であると、私たちは信じています。

また、東日本大震災を経験したこの地だからこそ、「復興」とは人と人との絆、地域の力、そして希望を失わない意思によって支えられるものであることを、私たちは身をもって知っています。地域経済の再生、人づくり、次世代への希望——第2520地区の歩みは、世界の未来とも確かにつながっています。

4月17日(金)・18日(土)の地区大会では、こうした想いと行動の積み重ねを、言葉だけでなく「体感」していただきたいと願っています。

手を取って未来へ。UNITE FOR GOOD。



地区大会委員長  
**大山 健太郎**  
(仙台RC)

このたび国際ロータリー第2520地区大会を開催するにあたり、地区内外のロータリアンの皆さまを心よりお迎えいたします。東日本大震災から歩みを重ねてきたこの地は、「復興とは挑戦の連続である」ことを私たちに教えてくれました。私が日頃お伝えしている通り、変化を恐れず、まず行動することが未来を切り拓きます。本大会は、経験と知恵を持ち寄り、次なる挑戦へ踏み出すための場です。UNITE FOR GOODの旗のもと、共に学び、語り、行動し、希望を未来へつないでまいりましょう。皆さまとお会いできることを心より楽しみにしております。



仙台ロータリークラブ会長  
**西條 清和**

国際ロータリー第2520地区大会にご参加下さった皆さまを、心より歓迎申し上げます。

ホストクラブを務めます仙台ロータリークラブは創立89年を迎えました。長い歴史の中で培われてきたのは、奉仕への誇りと、会員一人ひとりが心愉しくクラブライフを分かち合う文化です。和気藹々とした居心地の良いクラブとして、会員同士が心を通わせ、8代目ガバナーとなる加藤雄彦会員を一致団結して盛り上げてまいりました。

多くの人と想いが行き交う仙台の玄関口を支えてきた経験を胸に、皆さまをお迎えできることを大変光栄に存じます。杜の都・仙台で、友情と信頼を深める二日間となることを心より願っております。

## 地区大会のご案内

## プログラム (全体スケジュール)

【大会テーマ】「手を取って未来へ」(Hand in hand to the future)

【会場】ホテルメトロポリタン仙台

4月17日(金)

- 13:30 受付  
 14:00 諮問委員会  
 14:10 大会各委員会(登録・資格審査・選挙・決議)  
 14:30 来賓・一般受付  
 15:00 研究会挨拶：地区ラーニングファシリテーター  
 森川昭正パストガバナー  
 第2232地区オルハ・バリチェックガバナーからの  
 ビデオメッセージ  
 15:10 地区ロータリー研究会  
 「対談：日本ウクライナ国際共同委員会について」/  
 第2590地区大塚正一ガバナー & 加藤雄彦ガバナー  
 16:00 <休憩>  
 16:15 地区財団表彰式／クラブ優秀賞、PHS、米山、賀寿等  
 17:00 第2520地区ウクライナ大使歓迎国際夕食会  
 (第3640地区歓迎会を含む)  
 第3640地区姉妹地区協定締結24周年  
 (2003年4月13日締結)  
 手に手つないで  
 19:15 終了

4月18日(土)

- 11:30 登録開始・来賓、参加者受付  
 12:30 本会議  
 15:00 <千代の間 会場転換開始>  
 15:15 参加者移動及び休憩  
 15:15 友愛の広場  
 (日本ウクライナ国際共同委員会・  
 シジュウカラガンプロジェクト・  
 アマモ再生プロジェクト・写真パネル展等)  
 16:00 参加者移動  
 16:30 大会懇親会  
 17:45 終了  
 18:00 国際ロータリー第3640地区  
 交流親睦会

会場／かに政宗 本町店  
公式サイト

日・ウクライナ国際共同委員会 ICC 締結記念歌 「手を取って未来へ」

## ♪【1番】

青い空に 願いをのせて  
 ふるさと越え ともに歩く  
 自由を信じ 手を取り合い  
 笑顔が つなぐ 友情の輪

## ♪【サビ】

手を取って 未来へ  
 心をひとつに  
 ロータリーの 灯を信じ  
 ともに夢を運ぼう

## ♪【2番】

痛みの日々も 胸に刻んで  
 希望の種を 土にまこう (サビくり返し)  
 平和と自由 守る力は  
 優しさから 生まれてゆく

多賀城1300ロータリー衛星クラブ作



ウクライナ駐日大使

ユーリ・ルトビノフ

Yurii Lutovinov

1995年11月にウクライナ外務省に入省後、同省アジア太平洋・中東・アフリカ局アジア太平洋課にてアタッシュェ、三等書記官、二等書記官を歴任し、1998年から2004年まで在日ウクライナ大使館に勤務。その後、外務省第三地域局アジア太平洋課で一等書記官を務め、2007年から2012年まで再び在日ウクライナ大使館に赴任した。2012年から2015年には外務省にて東南アジア・オセアニア課長を歴任し、2015年から2021年まで在日ウクライナ大使館公使参事官、2022年から2023年に外務省儀典局次長、2023年から2025年に大統領府欧州・NATO統合局次長等を務め、2025年9月23日より駐日ウクライナ特命全権大使として現職を務めている。

また学歴としては、1993年から1994年に龍谷大学(京都)で日本語・経営学を履修し、1996年にタラス・シェフチェンコ記念キウ国立大学東洋学科を卒業、同年オランダ国際関係研究所クリンゲンドール特別課程を修了、2006年に外務省附属外交アカデミーで外交政策課修士号を取得している。

2月5日時点で決まっていることですが、今後変更がありますのでご理解願います。

## 地区大会のご案内

## 会場マップ



## 会場

ホテルメトロポリタン仙台  
公式サイト

## アクセス

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>電車</b> JR仙台駅より徒歩約1分<br/>地下鉄仙台駅より徒歩約1分</p> | <p><b>飛行機</b> 仙台空港より仙台空港アクセス線で約31分<br/><b>車</b> 仙台宮城インターチェンジより車で約31分</p> |
|---|--|



## 仙台観光案内

## お問い合わせ

## 国際ロータリー第2520地区ガバナー事務所

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目10-33 第2日本オフィスビル8階9号

TEL:022-224-0151 FAX:022-224-0152

E-mail:ri2520-sendai@sage.ocn.ne.jp



クラブ会員数・寄付状況

「善意を尽くせば、いつかその善意は戻ってくる」

1月ロータリーレート\$: 156

分 区	No.	クラブ名	会員数 (内女性)	財団寄付累計額 (ポリオ指定)	米山寄付 累計額	
第一分 区	久慈・二戸	1 久慈	24 (1)	186,663	40,023	47,000
		2 二戸	47 (5)	110,618	0	415,000
		3 種市	17 (0)	5,000	5,000	0
	盛 岡	4 盛岡	72 (2)	1,164,387	143,748	890,000
		5 盛岡北	38 (3)	492,333	181,136	194,000
		6 盛岡西	21 (2)	363,953	97,091	85,000
		7 盛岡南	47 (2)	773,760	180,960	194,000
		8 盛岡東	27 (3)	1,464,174	224,422	128,000
		9 盛岡中央	27 (4)	279,672	61,272	57,500
		10 盛岡西北	40 (5)	669,928	10,360	160,000
		11 盛岡滝ノ沢	4 (3)	0	0	0
分区分計			364 (30)	5,510,488	944,012	2,170,500

第二分 区	花巻・北上	12 花巻	31 (2)	646,710	23,400	191,000
		13 花巻南	29 (1)	289,294	61,384	174,000
		14 花巻北	41 (3)	15,525	15,525	0
		15 北上	38 (4)	158,028	71,448	411,000
		16 北上西	20 (4)	94,815	32,415	119,000
		17 北上和賀	21 (4)	316,380	160,380	31,500
		奥 州	18 前沢	9 (0)	191,961	35,961
	19 水沢		16 (2)	75,379	0	164,000
	20 奥州水沢東		37(7)	211,750	211,750	0
	分区分計			242(27)	1,999,844	612,264

第三分 区	一関・平泉	21 花泉	10 (2)	140,654	50,653	110,000
		22 一関	12 (1)	158,307	18,436	39,000
		23 一関中央	14 (6)	434,505	156,000	456,000
	大船渡・高田・ 千蔵・気仙沼	24 大船渡	28 (2)	98,026	98,026	56,000
		25 大船渡西	29 (4)	268,451	221,893	75,000
		26 陸前高田	14 (0)	77,290	22,422	17,000
		27 千蔵	21 (3)	0	0	0
		28 気仙沼	18 (0)	0	0	0
		29 気仙沼南	35 (1)	35,435	35,435	205,000
分区分計			181 (19)	1,212,669	602,865	958,000

第四分 区	遠野・釜石	30 釜石	21 (2)	526,541	74,131	60,000
		31 釜石東	29 (3)	0	0	80,000
		32 大槌	6 (0)	46,800	18,720	18,000
		33 遠野	10 (2)	202,599	50,650	0
	山田・宮古	34 宮古	29 (3)	315,630	96,319	60,000
		35 宮古東	20 (1)	212,001	20,940	70,000
		36 山田	19 (1)	118,115	24,515	0
分区分計			134 (12)	1,421,686	285,276	288,000

分 区	No.	クラブ名	会員数 (内女性)	財団寄付累計額 (ポリオ指定)	米山寄付 累計額	
第五分 区	三陸	37 石巻東	39 (0)	679,701	375,501	20,500
		38 石巻西	31 (3)	504,970	21,370	15,500
		39 石巻南	20 (1)	319,299	7,299	9,500
	登米・栗原	40 栗駒	13 (1)	79,134	79,134	0
		41 築館	17 (2)	726,960	79,560	837,000
		42 佐沼	58 (7)	244,046	20,018	387,000
		43 若柳	27 (5)	101,400	0	27,000
	分区分計			205 (19)	2,655,512	582,883

第六分 区	大崎	44 古川	41 (2)	476,627	25,325	346,000
		45 古川東	43 (1)	329,790	66,203	415,000
		46 岩出山	11 (1)	121,452	58,631	105,000
		47 加美	19 (0)	15,600	0	0
	松塩	48 松島	5 (0)	171,600	0	10,000
		49 塩釜	29 (1)	48,596	0	165,000
		50 塩釜東	11 (1)	29,002	15,614	32,000
		51 多賀城	21 (3)	151,144	44,730	186,000
		多賀城1300	22 (6)	0	0	0
		52 利府	8 (1)	24,001	0	32,000
53 七ヶ浜	13 (1)	0	0	0		
分区分計			223 (17)	1,367,811	210,503	1,291,000

第七分 区	仙台青葉	54 仙台	128 (5)	5,018,518	424,593	1,431,100	
		55 仙台泉	52 (3)	453,278	66,130	343,000	
		56 仙台青葉	46 (0)	44,912	44,912	357,000	
		57 仙台冠	22 (4)	107,136	33,322	44,000	
	58 仙台レインボー	10 (3)	40,193	12,564	45,641		
	仙台広瀬	59 仙台南	46 (3)	851,975	117,604	240,000	
		仙台南一 白石衛星	18 (8)	0	0	0	
		60 仙台北	58 (3)	305,526	281,034	300,000	
		61 仙台東	52 (0)	308,312	277,112	657,500	
		62 仙台西	36 (1)	298,703	10,009	255,000	
		63 仙台宮城野	30 (2)	10,941,417	5,426,664	157,000	
	64 仙台奥羽	23 (4)	196,338	49,878	47,000		
	分区分計			521 (36)	18,566,310	6,743,822	3,877,241

第八分 区	阿武隈	65 岩沼	26 (2)	439,430	137,385	377,500
		66 名取	34 (3)	282,583	68,060	122,500
		67 亘理	11 (0)	98,280	14,040	44,000
		68 角田	17 (0)	53,110	53,110	0
		69 丸森	15 (0)	0	0	0
		蔵王	70 白石	19 (3)	166,716	0
	71 柴田		19 (1)	459,381	26,476	254,000
	72 村田		13 (1)	60,840	0	52,000
	73 大河原		31 (4)	195,396	98,567	242,000
	分区分計			185 (14)	1,755,736	397,638
地区合計			2,055 (174)	34,490,056	10,379,263	12,176,241

RAC(4)	1 宮古RAC	5 (2)	0	0	0	
	2 古川東RAC	8 (2)	0	0	0	
	3 仙台RAC	3 (0)	0	0	0	
	4 仙台泉RAC	28 (8)	341,200	73,136	0	
RAC合計			44 (12)	341,200	73,136	0

新入会員紹介・退会者報告・寄付認証・お知らせ

## 新入会員紹介

<p>仙台 RC</p>  <p>ろぶろ ろぶれぐりお ロブ ロブレグリオ 2026.1.6 入会 ビール製造・販売</p>	<p>奥州水沢東 RC</p>  <p>きむら ひろあき 木村 寛昭 2026.1.6 入会 塗装業</p>	<p>北上 RC</p>  <p>むらこし のりお 村越 記雄 2026.1.6 入会 燃料油・自動車販売</p>	<p>多賀城 RC</p>  <p>いしやま 石山 かおり 2026.1.15 入会 教育</p>	<p>盛岡 RC</p>  <p>たなか もとひろ 田中 紀大 2026.1.16 入会 土地家屋調査士</p>	<p>宮古 RC</p>  <p>きくち みき 菊地 美紀 2026.1.19 入会 介護業</p>
<p>釜石 RC</p>  <p>やまがき かおるこ 山崎 薫子 2026.1.20 入会 歯科医師</p>	<p>盛岡 RC</p>  <p>かわむら きよし 川村 清 2026.1.23 入会 不動産賃貸</p>	<p>仙台宮城野 RC</p>  <p>あきは まさこ 秋葉 雅子 2026.1.29 入会 飲食業・療術業</p>	<p>千厩 RC</p>  <p>ちば ゆきお 千葉 幸男 2026.2.1 入会 薬品販売</p>	<p>石巻西 RC</p>  <p>さいとう ゆうじ 齋藤 祐司 2026.2.3 入会 再生資源</p>	<p>仙台北 RC</p>  <p>さとう みちあき 佐藤 道昭 2026.2.4 入会 県議会議員</p>

## 退会者報告

クラブ名	氏名	職業分類	退会日
千厩RC	及川 宏	農産物生産販売	2025.12.31
盛岡南RC	白倉 義則	整形外科医	2026.1.15
石巻東RC	大橋 諒	インターネット付随サービス	2026.1.17
盛岡RC	佐藤 保	旅行業	2026.1.31
仙台南RC	福田 晃也	旅行業	2026.2.5

## 寄付報告 (1月認証)

### ■ロータリー財団

認 証	所 属	氏 名
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	石巻東RC	鈴木 紀男
	石巻東RC	徳増 良平
	石巻東RC	大槻 勝男
	石巻西RC	高橋 一郎
	石巻西RC	小池 幾世
ポール・ハリス・フェロー	石巻西RC	日野 雅晴

## 第2520地区ホームページからのお知らせ ※詳細はホームページをご覧ください

国際ロータリー第2520地区 地区大会のご案内(2026年4月17日(金) 18日(土)、会場：ホテルメトロポリタン仙台)を掲載いたしました

ガバナーエレクト事務所からのお知らせに「3/22開催 地区チームラーニングセミナーのご案内」【登録は3月2日まで】が掲載されました

ロータリーマガジン2026年2月号を掲載しました

【編集後記】紙面の関係で休載いたします。